



21世紀のピークルは  
ダイナミックな運動制御がポイント  
[ SoloTrek XFV ]

メーカー Millennium Jet., Inc.  
URL [www.solotrek.com](http://www.solotrek.com)

鳴り物入りで登場した" Ginger (商品名:セグウェイ) の影響もあって、21世紀の乗り物はクルマからパーソナルトランスポートへという話もちらほら。そんな流れが空にまで及ぶのがいかにもアメリカっぽい。この" SoloTrek XFV "はカリフォルニアのベンチャー企業が計画中の1人乗り空飛ぶマシン。プロトタイプの写真がまるでプラモのフィギュアに見えるところも微笑ましいが、先日行われたデモ飛行では1メートル足らずしか浮き上がらなかったというから、まだ先は長そう。CCV( Control-Configured Vehicle )ほど高度ではないにしても、ジャイロとセンサーを使い、動的条件にあわせてコンピュータで姿勢制御して自由な行動を実現しようという点はセグウェイに通じるものがある。今後の展開に注目したい。

(今泉 洋 / 武蔵野美術大学情報デザイン学科教授)

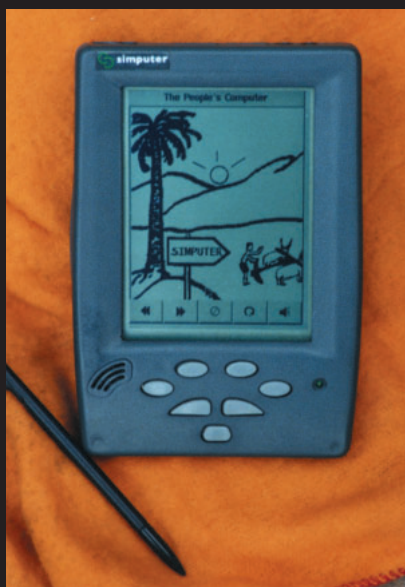


### ジェスチャー認識が新しいインターフェイスに [ P5 Glove ]

メーカー Essential Reality, LLC  
URL [www.essentialreality.com](http://www.essentialreality.com)

ゲームなどホビー向けのデータグローブ。コンピュータに接続するドッキングステーションとグローブ本体から構成されるシステムだ。5本指それぞれの動作検出と、自由度の測定によるトラッキングを行い、3次元のマニピュレーションと、ジェスチャーによるオペレーションができる。とくにジェスチャーの認識はこのデバイスの目玉といえる。特定の指の動かし方で、アサインされた機能呼び出すことができるというこの機能は、PalmOSの筆跡入力「Graffiti」が3次元に拡張されたようなものと考えられる。これにより、たとえばゲームで拳銃のトリガーを引いたり、バットを振ったりといった操作が直感的にできる。さらにユーザーによるジェスチャーの登録も可能だ。ウィンドウズ、マックのほか、PS2やXboxにも対応予定。

(クワクポリョウタ / デバイスアーティスト)



### デジタルデバイス解消へ、バンガロールの挑戦 [ Simputer ]

開発元 The Simputer Trust  
URL [www.simputer.org](http://www.simputer.org)

軽量薄型化でAV機能を充実、ブロードバンドや無線LAN、Bluetoothに対応.....われわれにはあたりまえに思えるこうしたパソコンの進化も、情報の南北格差とも言えるデジタルデバイドの向こう側から見れば、いびつなオモチャの爛熟にしか見えない。重装備のOSで高機能化するより、軽くて使い勝手の良いシンプルなポータブルPCを普及させることが開発途上国の情報化で最大の課題.....そう考えたインドの企業グループが開発を進めているのがこの「Simputer」。LinuxをベースにPalmサイズの液晶タッチスクリーン、モデム、赤外線ポートを持ち、アイコンとグラフィックス、さらに音声機能を使って文字の読めない人にも地域言語でコミュニケーションできるというスペックは現場を知ればこそ。これで200ドルという価格は綱渡りだが、世界のPC地図が塗り替えられる予感もして来る。

(今泉 洋)



PRO'S Products

APRIL



## 電子からバイオへ コンピュータの螺旋的展開

[ 遺伝子解析用DNAコンピュータ ] photo : Murayama Shinori

開発元 オリンパス光学工業(株)

URL [www.olympus.co.jp](http://www.olympus.co.jp)

「コンピュータ」と「DNA」という組み合わせから連想するのは、「スーパーコンピュータで遺伝子情報解析」というのが相場だろう。ところが、先頃オリンパスが発表したのはDNAを構成する4つの塩基がそれぞれ特定の塩基と結びつくという物理化学的性質を利用し、これをCPUの動作原理とする「DNAコンピュータ」。つまりまったく新しい原理による計算システムの実現である。とくにDNAをそのまま入出力データとして利用する遺伝子診断などの分野で、超並列処理による解析作業の高速化(従来のDNAマイクロアレイの解析作業を3日から6時間に短縮が可能になるという。個人ごとに異なるDNAの塩基配列の解析をDNAチップを持つ分子計算部が行い、その結果を通常のPCからなる電子計算部がドキュメント化する……余りにも意味深な展開。これはアンドロイドへの第一歩?

(今泉 洋)



世界のモバイラーを救え! 変形合体トランスフォーム!

[ Go! con(ゴークン) ]

photo : Murayama Shinari

メーカー 城下工業(株)

URL [www.warrior.co.jp](http://www.warrior.co.jp)

どことなく「コアファイター」を彷彿とさせるこのプラスチック塊は、もちろんプラモデルではなく、手のひらにすっぽり収まるサイズで世界各国の電源コンセントに対応してしまうという電源プラグ変換アダプターだ。このサイズといい、「これひとつで全世界に対応」というユニバーサル具合といい、使う使わないは別として、いじっているだけで楽しくなりそうなガジェットのエレメントは十分。本体は2つのブロックから成り、その組み合わせによって6段変形する。さらに、差し込み幅の調節ボタンを使って、各国の規格に合うようにピンの幅を調節できる。この設計作業はパズルのようでさぞかし楽しかったことだろうと想像してしまう。あまりに多様に組み合わせ可能のため、現地で該当するフォーメーションを再現できるかがちょっと心配ではあるが、ぜひ旅のおともに。

(クワクポリョウタ)



タッチタイピング必須?

手の動きを読む仮想キーボード

[ Senseboard Virtual Keyboard ]

メーカー Senseboard Technologies AB.

URL [www.senseboard.com](http://www.senseboard.com)

高度のセンシング技術と認識ソフトウェアの組み合わせはいろいろなインターフェイスを可能にする。たとえばこの「Virtual Keyboard」はキーボードすら使わない究極のタッチタイピングを実現した。なにしろ「そら」でタイプをするとそれがそのまま入力されてしまうのだ。使い方は、両方の手のひらにバンド状の装置をはめ、あたかもそこにキーボードがあるかのようにタイプするだけ。机の表面をキーボードに見立ててもいいし、空中にそれを思い浮かべてもいいし。打鍵すると、有線または無線で接続されたPDAやウェアラブルデバイスにキー入力情報が伝えられる。PDAでの文字入力は、その小ささゆえに少なからず神経のすり減る作業であったが、このデバイスはリラックスした操作感をもたらしてくれるだろう。ちなみに、ポーズ機能を使えば「作業中に頭を掻くことも可能」とのこと。ちょっと安心。

(クワクポリョウタ)



自分の虫歯を見てみたい人に究極の“のぞき”メガネ  
[ スコープアイ ] photo : Murayama Shinori

メーカー 近藤研究所  
URL [www.scope-eye.com](http://www.scope-eye.com)

もう1つ眼をもらえたら、どこに付けるか。答えは額に3つ目。.....じゃなくていちばん合理的な場所は手だという。どこでも手をつっ込んで見ることができるから。だが、眼を守ることを考えると指先はNG。手のひらなら大丈夫.....なんていう話を思い出させるのがこの“スコープアイ”。医療分野で使われている「胃カメラ」みたいなファイバースコープだが、専用メガネを使うか手持ちメガネにクリップ式アダプターを取り付けて利用する。高光度白色LEDと耳掻き用、穴用、歯科用といった3つのノズルが用意されているところが市販品らしくておかしいが、お値段はフルセットで1万8,000円。シャレで買うにはちょっと高いから、これを持っている人と友達になるのが賢い。いや、考えてみるとそっちの方がかなり怖いことになりそう。 (今泉 洋)





### やっと出た、ケータイ体型PDA [ Handspring Treo ]

メーカー Handspring, Inc.

URL [www.handspring.com/products/treo/](http://www.handspring.com/products/treo/)

おなじみのPalm OS機が携帯電話を搭載したもの。この1台で従来のPalm OSアプリケーションの使用や、通話、メール送受信ウェブブラウジングなどができる。サイズはこの手の機器の中ではコンパクトなほうだと言えるだろう。QWERTYキーボードが装備された" Treo 180 (写真右)と、Palm OS機伝統のGraffitiモデル" Treo 180g "があり、カラー液晶タイプの" Treo 270 (写真左)も登場する予定だ。ただ、携帯電話自体が持つ機能が充実してしまったいま、通話機能付きPDAを使う人を見かけることはあまりないような気がする。それでもPalm OS機は母艦 = パソコン との情報シンクロナイズやアプリケーションの選択自由度などの点で携帯電話よりも断然秀でている。ちなみに、着信音をハードウェアスイッチでオン、オフできるという仕様になっていて不思議。(クワクポリウタ)



### 異業種の新結合から生まれるニュータイプのモノ造り [ Q-Car ]

メーカー (株)タカラ

URL [www.takaratoys.co.jp](http://www.takaratoys.co.jp)

"Q-Car"は、おもちゃメーカーのタカラとドイツ車フォルクスワーゲンの老舗チューナーとして知られるCOXという意外な組み合わせで生まれた「公道を走れるチョコQ」。もともと普通のクルマをおもちゃ用にデフォルメし、独特のプロポーションに仕上げたのがチョコQだが、さらにそのデザインが最先端の電気自動車に使われる。ある意味では爽快、でも日本ってやっぱりアニメ文化の国なわけ？ しかし実物は、290ワットのモーター2機を後輪のホイール内に搭載、これを充電式電池6個で直接駆動して最高速度50km/h、標準充電時間が8時間で1充電走行距離が80kmというから、まずまずの実用性。ただのおもちゃにはしたくない、でもマジにハイテクするとデザインがつまらない。そんなところをうまくハイブリッドしたという意味で、今後のモノ造りを考える上でも興味深いプロダクトだ。(今泉 洋)



## [インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

**株式会社インプレスR&D**

All-in-One INTERNET magazine 編集部

[im-info@impress.co.jp](mailto:im-info@impress.co.jp)